

2026 年 8 月 20 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 イン フ ォ ネ ッ ト
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 東 間 大
(コード番号：4444 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 南 嶋 将 人
(TEL. 03-5221-7591)

2027 年 3 月期第 1 四半期決算に関する質疑応答集

当社の 2027 年 3 月期第 1 四半期決算に関して、当社で想定しておりました質問および発表以降に株主・投資家などの方々からいただいたお問い合わせ、感想、および当社からの回答をまとめましたので以下の通りお知らせいたします。なお本開示は市場参加者のご理解を一層高めることを目的に、当社が自主的に実施するものです。皆様のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆修正を行っております。

Q 1. 今期の業績予想を上方修正されました。インフォネットグループの第 2 四半期以降の業績見込みと、アクティブリテック社の業績加算分に分けて、上方修正の内容を詳しく教えてください。

A 1. 今回の上方修正は、アクティブリテック社の 2026 年 7 月から 2027 年 3 月までの業績を連結したことが要因です。従来のグループ 5 社は、期初予想の売上高 2,239 百万円、営業利益 137 百万円を据え置いております。同社分として売上高 1,061 百万円、営業利益 92 百万円を加算し、取得関連費用やのれん等の償却費 46 百万円を織り込んだ結果、通期予想を売上高 3,301 百万円、営業利益 183 百万円へ修正しました。第 1 四半期は想定範囲内であり、第 2 四半期以降の案件計上により計画達成を目指します。

Q 2. アクティブリテック社のグループ入りにより、どのようなシナジーが見込まれるか、貴社の中長期ビジョンを踏まえて教えてください。

A 2. アクティブリテック社は、3DCG、XR、デジタルツイン、システム開発の分野で高い専門性を有しており、当社グループのデジタルイノベーション事業領域を広げる存在と認識しております。当社グループでは、各社の専門性と自律性を尊重し、それぞれの事業成長を基本としております。その上で、お客様の課題やニーズに応じて、相互の顧客紹介やサービス連携などが自然に生まれることで、グループとして提供できる価値や事業機会が広がることを期待しております。

Q 3. グループのストック収入が着実に積み上がっていますが、第 2 四半期以降も第 1 四半期と同様のペースでの積み上がりが見込まれますでしょうか。

A 3. 第 1 四半期のストック売上高は 277 百万円となり、前年同期比 9.1%増と着実に積み上がっております。Web/CMS 事業の保守・運用収入に加え、AI サービスにおける「Cogmo シリーズ」の月額利用料等が成長を牽引しております。一方、新規サービスの導入時期やフロー案件から月額収入へ移行する時期により、四半期ごとの増加額は変動します。このため、第 1 四半期と全く同じペースで増加するものではありませんが、第 2 四半期以降も増加基調を見込んでおります。今後は、AI 検索、RAG 型生成 AI 等の導入拡大、Web/CMS 案件から保守・運用への移行、採用サイト専用パッケージ等の月額サービスを通じ、ストック収益の規模と収益性の向上を図ってまいります。

Q 4. フロー収入について、今後取り込んでいかれるとのことですが、受注残を踏まえて、今後取り込むべき水準について教えてください。

A 4. 第1四半期のフロー売上高は92百万円、前年同期比44.2%減となりましたが、受注・検収・売上計上の多くを第2四半期以降に想定しており、社内計画の範囲内です。具体的な受注残や四半期目標は非開示ですが、Webリニューアル、採用サイト、AIサービス等の提案を進めるとともに、案件ごとの採算性と社内リソースを適切に管理し、通期計画の達成に必要な案件を着実に取り込んでまいります。

Q 5. AI サービスの事業進展について、トピックスも交えて教えてください。

A 5. AI サービス事業は、企業や行政における業務改善・DX需要を背景に、引き続き堅調に推移しております。特に「Cogmo Enterprise 生成AI」は、ChatGPTをベースに、アイアクト社が9年にわたり蓄積してきたAI検索技術を組み合わせることで、企業や行政が必要とする関連情報を集約し、分かりやすく提示するサービスとして提供しております。

直近のトピックスとしては、2026年7月に中央区公式WebサイトへAI検索・RAG型生成AI「Cogmo」を導入いたしました。自然文や質問文による検索に対して、AIが質問の意図をくみ取り、関連情報を集約して提示することで、区民のみなさまの利便性向上を支援しています。これまでにも、一般企業や複数の地方自治体への導入実績を積み上げており、こうした実績と信頼が次の受注につながる好循環が生まれております。今後は、新規導入の拡大に加え、既存のWeb/CMS顧客への提案を進め、高利益率かつストック型のAIサービスを、グループ全体の売上・利益成長を牽引する事業として育成してまいります。

Q 6. 今期業績について、達成、上振れのためのポイントについて教えてください。

A 6. 達成のポイントは、第2四半期以降に予定する案件の確実な受注・検収、アクティブリテック社を含む各社の計画達成、AIサービスとストック収益の拡大、コスト管理と社内AI活用による生産性向上です。上振れに向けては、高利益率なAIサービスの導入加速や、フロー案件の受注・検収が計画を上回ることに加え、各社の専門性を生かした顧客紹介やサービス連携の機会が生まれることも一つの要素と考えております。各社がそれぞれの事業計画を着実に遂行し、修正後計画の達成を目指します。

以 上